

「3年先が見えない」、「財政が安定しない」とお悩みのNGOのための研修

NGO等提案型研修「～中部地域のNGOの中核を担う人材を育てるために～ 中部地域における国際協力および国際交流を担うNGOの持続可能な活動に必要な知識とスキルを身に着ける研修事業」

Dを希望する団体は、原則、A～Cを全回ご参加ください。

A 「団体」を磨く 編 2017年9月～10月

1 座学

～NGOとしての「原点」を振り返る～ 私たちは「誰の側」に立って活動しているか？

●日時:2017年9月2日(土)10:00～17:00 ●会場:名古屋YWCAビル4F 404号室

活動を続けていると見えにくくなる、NGOの原点。NGOしかできないことは?本場の現場のニーズは?そして、私たちは誰の側に立って活動しているのでしょうか。長年、そのような問いと向き合いながらNGO活動を続けてきた講師と共に、原点を振り返り、NGOとしての軸を確認しましょう。

●講師



池住義憲さん 元アジア保健研修所・AHI事務局長、日本イラク医療支援ネットワーク(JIM-NET)理事

中田豊一さん ムラのミライ代表理事、シャプラニール=市民による海外協力の会監事

2 現場体験(三重県伊賀市)

～「現実」の中で揺れ動く「理念」～ 大センパイNGOの現場で学ぼう

●日時:2017年10月8日(日)10:45～17:45 ●会場:全国愛農会(三重県伊賀市) [現地集合・現地解散]

1945年に「世界の平和と農業を守る」ことをめざし、創設されたNGO「愛農会」。70年以上におよぶ歴史の中で、理念と現実のはざまを葛藤し、苦悩しながら深めてきた活動を、現場でじっくりと学びます。

●講師

中村満さん 愛農学園農業高等学校 略農部主任、元アジア学院 職員

伊藤幸慶さん ニカラグアの会 事務局長



*全国愛農会～三重県伊賀市において、土と命を守る担い手の育成や有機農産物の流通を促進し、さらに国内の農村開発のみならず、アジアの農民との連携を進めつつ、持続可能な農業とアジア農村の発展を目指す「アジア農民の会(AFA)」のメンバーとして活動している。

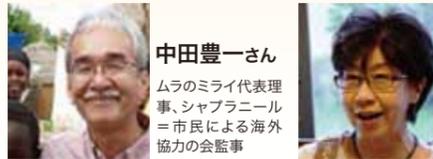
3 座学・ワークショップ

～どんな社会を創りたい?～ 迷わないよう、「ビジョン」を深めよう

●日時:2017年10月28日(土)10:00～17:00 ●会場:ウィルあいち2F セミナールーム5

私たちは、どんな社会を創りたいと願い、活動を続けているのでしょうか。現在の社会や現場の課題、ニーズは、どう変化しているのでしょうか。それらを踏まえ、理想とする社会像を、具体的にイメージができるようワークショップを行います。その上で、団体の「ビジョン」を改めて捉え直し、3年先も迷わないように深め、自分の言葉で語れるようにしましょう。

●講師



中田豊一さん ムラのミライ代表理事、シャプラニール=市民による海外協力の会監事

伊沢令子さん NIED・国際理解教育センター 代表理事

B 「プロジェクト」を磨く 編 2017年11月～12月

4 座学・ワークショップ

～プロジェクト作りのキホンを学ぶ～ (1)現場の「ニーズ」を満たすには? (2)団体の「強み・リソース」を活かすには?

●日時:2017年11月18日(土)10:00～17:00 ●会場:JICA中部 セミナールームB1-2

団体分析を行い、各団体の強みやリソースを確認します。その上で、実行中のプロジェクトあるいは新規のプロジェクトを見直し、具体的にプロジェクトの問題点、課題や改善点について、アドバイスを受けます。

●講師



村田元夫さん 株式会社 ビーエスサポート 代表取締役、中小企業診断士、起業支援ネット創設メンバー、経営コンサルティング

浅野陽子さん 日本国際飢餓対策機構 国際渉外部 ディレクター

5 現場体験(愛知県日進市)

～一方通行ではない「参加型」を体験しよう～ 「住民参加型」プロジェクトの作り方

●日時:2017年12月16日(土)10:00～17:00 ●会場:アジア保健研修所・AHI(愛知県日進市) [現地集合・現地解散]

支援側の一方的な思い込みではなく、「住民参加型」を軸にしなから活動を行ってきたNGOより、住民参加型のプロジェクト作りについて体験を通じて学びます。また、その学びを、団体のプロジェクト作りにも活用するかについても考えます。

●講師



林かぐみさん アジア保健研修所・AHI 理事・事務局長



松浦史典さん ホープ・インターナショナル開発機構 ファンドレイザー

*アジア保健研修所・AHI～設立36年を迎える中部地域のNGO。アジアの保健に取り組むワーカーを育成すべく、「参加型」の手法を活かし研修を実施している。

この研修がみなさんの活動に役立つよう、私たちが全研修をサポートします!



*コースリーダー 松浦史典さん ホープ・インターナショナル開発機構 ファンドレイザー/名古屋NGOセンター理事



*サブコースリーダー 戸村京子さん チェルノブイリ救援・中部 運営委員/名古屋NGOセンター常務理事・事務局長

C 「ファンドレイジング手法」を選ぶ 編 2018年1月～3月

6 座学・個別相談

～当事者・経験者に聞く、「自己資金」の確保～ (1)「寄付・会費」を増やすには? (2)「企業との連携」を実現するには?

●日時:2018年1月20日(土)10:00～17:00 ●会場:JICA中部 セミナールームB1-2

(1)寄付・会費を主な収入源としているNGOより、その秘訣や苦労について話を聞きます。(2)数多くのNGOとの連携経験を持つ講師より、企業側のNGOに対する本音とニーズを聞いた上で、相手のニーズを踏まえた提案について考えます。講座終了後、希望団体は、講師より個別相談を受けることができます。

●講師

林かぐみさん アジア保健研修所・AHI 理事・事務局長



戸成司朗さん 住友理工株式会社 CSR・社会貢献室長、中部プロボノセンター 共同代表理事、株式会社 西友 元副社長

7 座学・ワークショップ

～「赤字」にしない!「自己資金」の確保～ 「事業収入」を向上させるためには?

●日時:2018年2月24日(土)10:00～17:00 ●会場:JICA中部 セミナールームB1-2

安定した組織運営をするためには、外部資金に依存するだけではなく、自己財源の確保も重要となります。寄付や会費以外に考えられる、事業収入を向上させるための手法を学びます。

●講師(⑫の専門アドバイザー)

村田元夫さん 株式会社 ビーエスサポート 代表取締役(④の講師) 松浦史典さん ホープ・インターナショナル開発機構 ファンドレイザー

8 座学・個別相談

～うまく「外部資金」を活用しよう～ 「助成金・スキーム」の審査員から聞くホンネと申請書作成のコツ

●日時:2018年3月17日(土)10:00～17:00 ●会場:JICA中部 セミナールームB1-2

助成金や補助金、委託事業やJICA・外務省などのODAスキーム。長年、これらの外部資金を、審査側から見てきた講師より、審査基準、審査側のホンネ、申請書作成のコツやポイントについて学びます。また、参加団体より、事前に助成金・スキームの申請書案を募り、公開添削を受けます。その後、希望団体には、個別相談にて、アドバイスの時間を設けます。

●講師



山崎唯司さん 元国際協力NGOセンター事務局長、元JICA地球ひろば・市民参加協力アドバイザー



⑬の専門アドバイザー 中尾さゆりさん あいちモリコロ基金相談コーディネーター、税理士、准認定ファンドレイザー

*外務省NGO相談員、JICA担当に、個別相談のアドバイザーを依頼予定

D 「実践する」編(プロのフォローアップ付き) 2018年4月～2019年2月 ※⑩～⑬は選択コースです。

9 共有・アドバイス

～どれにする?「寄付・会費」「企業連携」「事業収入」「助成金・スキーム」?～ これから取り組むアクションプラン案を共有し、ブラッシュアップしよう

●期間:2018年4月頃の平日夜を予定 ●会場:JICA中部 セミナールーム(予定) 団体の中で、Cのファンドレイジング方法のいずれかを選び、2018年度6月～11月にプロのアドバイスを受けて、実行できるアクションプランを立てます。次回⑩のアクションプランの発表に向けて、アクションプラン案を発表し、講師や参加者からアドバイスを受けます。

●ファシリテーター 浅野陽子さん 日本国際飢餓対策機構 国際渉外部ディレクター

10 共有・プロとのマッチング

～いよいよ実践スタート!～アクションプランに合わせて、プロとマッチング

●日時:2018年5月頃(土)または(日)の10～17時を予定

●会場:JICA中部 セミナールーム(予定)

それぞれの団体が取り組むアクションプランを発表・共有し、専門アドバイザーよりアドバイスを受けます。その後、それぞれのアクションプランに合った専門アドバイザーとマッチングをし、個別相談の時間を設け、今後のスケジュール調整を行います。

●専門アドバイザー 寄付・会費/企業連携 林かぐみさん(⑤⑥の講師)/戸成司朗さん(⑥の講師) 事業収入の向上 村田元夫さん(④⑦の講師) 助成金・スキーム活用 中尾さゆりさん(⑧の講師) *外務省NGO相談員(依頼予定)

●講師・進行 浅野陽子さん 日本国際飢餓対策機構 国際渉外部ディレクター

11～13 4コースのうち1つを選ぶ

実践・プロによるフォローアップ

プロからアドバイスを受けて、実践しよう!

●期間:2018年6月～11月(参加団体の都合に合わせて実施)

⑪～⑬の4コースのうち、いずれかを選び、対面や電話・メール等を通じて、プロから個別にアドバイスを受けることができます。

*相談の目安:隔月1回1～2時間程度の面談および電話・メールで随時相談など

選択コース 11-1

【寄付・会費】のフォローアップ ●専門アドバイザー 林かぐみさん(⑤⑥の講師)

選択コース 11-2

【企業連携】のフォローアップ ●専門アドバイザー 戸成司朗さん(⑥の講師)

●サポーター(支援員) 浅野陽子さん 日本国際飢餓対策機構 国際渉外部ディレクター

選択コース 12

【事業収入の向上】のフォローアップ ●専門アドバイザー 村田元夫さん(④⑦の講師)

●サポーター(支援員) 西口のぞみさん ニカラグアの会 スタッフ

選択コース 13

【助成金・スキームの活用】のフォローアップ ●専門アドバイザー 中尾さゆりさん(⑧の講師)

●サポーター(支援員) 伊藤幸慶さん ニカラグアの会 事務局長 *ODAスキーム申請を希望する団体がいる場合は、外務省NGO相談員またはJICA担当者に協力を依頼予定

14 共有・アドバイス

～どこまで、できた?進捗共有～ アクションプランの進捗を共有しよう!

●期間:2018年12月頃平日夜を予定 ●会場:JICA中部 セミナールーム(予定)

次回⑭の成果発表会に向けて、アクションプランの進捗を共有し、講師や参加団体より個別アドバイスを受けます。

●講師 浅野陽子さん 日本国際飢餓対策機構 国際渉外部ディレクター

15 共有・成果発表

～どこまで、できた!成果発表～ アクションプランの成果を共有し、今後の活動に活かそう

●日時:2019年1月～2月頃(土)の午前・午後を予定

●会場:JICA中部 セミナールーム(予定)

アクションプランを実行した成果を共有・発表し、専門アドバイザーよりアドバイスを受けます。さらに研修後も成果が続くよう、今後の活動計画を考えるワークショップを行います。

●専門アドバイザー 寄付・会費/企業連携 林かぐみさん(⑤⑥の講師)/戸成司朗さん(⑥の講師) 事業収入の向上 村田元夫さん(④⑦の講師) 助成金・スキーム活用 中尾さゆりさん(⑧の講師)

●講師・進行 浅野陽子さん 日本国際飢餓対策機構 国際渉外部ディレクター